

北九州地区労連ニュース

2018年 3月号 No. 137

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号
 メール k_oren@ybb.ne.jp 093-921-0747
 ホームページ http://www.geocities.jp/k_oren/



健和会労組手作りの、プラスターは圧巻でした

安倍政権は退陣を 大幅賃上げで労働者の生活改善を 春闘要求前進をめざす3・15大宣伝行動に50人

2018年春闘、3月14日回答指定日に大手企業を中心に回答が出されました。北九州春闘加盟の医労連健和会労組やJ・M・T・U極東支部などは、3月15日職場集會や抗議行動、ストライキなどを配置して春闘要求の前進めざし粘り強いたたかいを取り組み前進回答を引き出しましたが、加盟組合の多くはゼロ回答だったり、回答さえ開かれていない状況です。

このような状況を打開し、春闘要求の前進をめざし、回答指定日の翌日、北九州春闘共闘連絡会は、小倉駅前ペDESTリアンデッキでの宣伝行動を取り組み、50人を超える仲間が参加しました。森友疑惑で大きく揺れる国会で安倍首相の責任追及や各組合の課題について市民に訴えました。

森友文書改ざんで、財務省の書き換えが明らかとなり、佐川前局長が突然、辞任し自民党からも安倍首相への不満が出ています。新聞各紙は、民主主義の危機と大きく報道しています。

働き方改革も嘘のデータで

働き方改革についても厚生労働省の、さまざまなデータが問題となり、裁量労働制は、見送られましたが、高度プロフェッショナル制度は、財界の強い要望で強行し

よつといています。労働者の視点に立てば、長時間過密労働の規制やサービス残業の根絶こそが求められていると

思います。過労自殺により、家族を亡くされた遺族のみなさんは、この高度プロフェッショナル制度も過労死につながる最悪の制度と反対しています。一方で東京でのアスベスト裁判で国の責任が断罪され、1人親方も救済できる判決を導き出しています。東日本大震災での自主避難者にも国や東電の責任を断罪しました。

安倍政権退陣を求める声は、日増しに大きくなっています。安心して働き続けることができる賃上げや労働条件の改善や平和な日本を目指す、運動が大きくなってきた全国統一行動でした。

課題別発言は、生協労組・健和会・市職労・学嘱労・J・M・T・U・全教・国交・福建労が、それぞれの要求や闘いの状況など訴え、「森友問題で安倍首相に責任を取らせろ」「非正規雇用の有期から無期への転換を」のプラは、約600枚配布され、森友問題への



小倉駅前広場で、2018年春闘前進を訴えました

雨あがり

また、花粉症の季節がやってきました。花粉症の原因は、もちろん、花粉です。自分が本当に花粉症なのかを知る上でも、花粉の飛散時期を知ることは重要です。

花粉症について少し調べてみました。花粉症は胃腸の冷えが起りやすくなったりするそうです。冷たいビールを飲んだ翌朝に、とても鼻が詰まったり、ズルズルした経験を持っている人も少なくないそうです。冷たい水分は胃腸を冷やし、鼻水となって上へ排泄されて、胃腸が冷え切っていると花粉症などのアレルギーも起こしやすいそうです。去年まではなんともなかったのに、いきなりアレルギーが出た場合は、消化管に負担がかかりすぎて、どんな胃腸を冷やす体質が出来上がってしまったことを意味するそうです。毎日の食習慣・・・ジュース、アイスクリーム、牛乳、豆腐などを冷蔵庫から出し冷たいまま食べるなど胃腸を冷やす元になり、いつかはアレルギーを発症する可能性があるそうです。

とはいえ、毎日の食事で冷たすぎたほうが良い飲み物などは冷たくし、温かくしたほうが良い食べ物も温かくして食べたいものですね！

これから花粉症などのアレルギーに気をつけて仕事やいろいろなことをがんばって行きたいものですね！

「安倍内閣は総辞職を!」「安倍働き方改革反対!」「貧困と格差是正」
3・18いのちとくらしを守る福岡県集会に5000人参加
 福岡県総がかり実行委員会主催 福岡市冷泉公園 3月18日13時開会

3月18日(日)13時、福岡市冷泉公園で、守りたい9条、なくしたい戦争をスローガンに掲げ、3・18命とくらしを守る福岡集会が開かれました。

会場は5000人を超える労働者・市民が参加し、様々な旗が立ち並び、「安倍内閣総辞職を!」「安倍働き方改革NO!」「貧困と格差是正」など様々な要求が書かれたプラカードが掲げられ、暑い熱気あふれる集会となりました。

集会は、主催者挨拶の後、沖縄県選出の糸数慶子参院議員が、「沖縄の現状と課題」をテーマに講演し、安保法や共謀罪法など安倍政権の政策を挙げ、「沖縄の思いを粉々に砕く」と批判しました。また、「11月の知事選で翁長(雄志)知事の2期目を勝ち取らなければならぬ」と訴えました。

各分野からの発言は、青年、女性、業者、医療、労働者などそれぞれの分野の代表から短い時間でしたが、たまたかの現状などについて訴え・発言がありました。

今回の集会の特徴は、森友問



冷泉公園は5000人の参加で一杯になりました

題を巡る決裁文書の改ざんなどが明らかになったことで、安倍退陣・総辞職を求める世論の高まりを受け、日本共産党、立憲民主党、進歩党、社民党、緑の会、いなとみ議員など6野党の国会議員や代表が参加し、「さらに共同を大きく広げ、安倍政治をやめさせよう!」と訴えたことです。

会場で訴えられたカンパも、263,675円が集約されたと報告があった。良い集会でした。

集会終了後、天神に向け3つのコースでパレードに出発しました。

消費税増税反対、民主的税務行政の実現!
 3・13重税反対全国統一行動に参加

消費税増税中止、戦争法・マイナンバー廃止・民主的税制・税務行政の実現へ全国民が声を上げ、共同を広めようをスローガンに、「3・13重税反対全国統一行動小倉地区集会」が、ムーブ大ホールで開かれました。

この集会は全国560か所で取り組まれたもので、統一行動には、民主商工会や福建労、年金者組合などから約400人が参加し元気あふれる集会となりました。

主催者挨拶の後、永富地区労連議長が来賓として紹介され挨拶をしました。決起集会の後、小倉税務署まで整然とデモ行進を行い集団申請を成功させました。

北九州地区では、門司地区が「旧大連航路上屋」、戸畑・八幡地区が「響きホール」、若松地区が「若松市民会館」でそれぞれ集会を開き集団申請をしています。



ムーブから小倉税務署までデモ行進 集団申請をしました。



集会終了後、サウンドカーを先頭にパレード

郵政ユニオン 1時間制限
 スト突入集会に参加



北九州中央郵便局前でスト突入集会

3月20日7時30分からの郵政産業労働者ユニオンストライキ突入支援集会に参加しました。郵政産業労働者ユニオンは、「大幅賃上げと非正規社員の均等待遇改善」を求めて、2018年春闘をたたかってきました。しかし、郵政当局は、賞与支給係数の引き上げ、年始勤務手当の新設など一定の前進回答はありましたが、正社員値の不合理な格差を容認するという不当な回答が出され、全国的にストライキに突入しました。北九州地区労連、自治労全国一般、全労協全国一般ユニオン北九州が、ナショナルセンターの垣根を超えて支援集会に参加、激励しました。地区労連永富議長が激励の挨拶を行いました。

核エネルギーから自然エネルギーへの転換を！ さよなら原発！3・11北九州集會に1500人が結集

2011年3月の福島原発事故から7年目の3月11日、小倉北区の三萩野公園で、「核エネルギーより自然エネルギーをえらびたい」をスローガンに、1500人を超える労働者・市民、商工業者や弁護士、青年、女性などが幅広く参加しこれまでの運動の広がりを感じさせる集會として成功しました。

晴天に恵まれた会場では本集會開始と同時に東日本大震災で犠牲になった方々へ全員で黙祷を捧げました。

棚次実行委員長は、「核エネルギーよりも自然エネルギーを使ってもらいたい。原発は直ちに廃炉、安全な社会、事故のない社会をめざそう。」と挨拶。続いて「福島原発事故収束作業に従事し、白血病に侵された作業員からの訴え」では、原発作業での放射能への安全対策がとられない中で現場の様子が詳しく報告されました。

原発職場で働いていた労働者の訴えの後、弁護士、青年労働者、エフコープ生協、グリーンコープ、看護学生などが次々に登壇し、「すべての原発今すぐ止めろ。」「リスクの多い原発をやめ自然エネルギーへの転換を」など、原発のない社会を訴えました。

国会報告は、日本共産党の田

村議員が行い、野党が一致して「原発廃止基本法案」を提出したことを報告し、共同をさらに大きく広げて必ず実現したいと決意を述べました。

集會終了後、小倉駅前までデモ行進（パレード）を行い、シユプレヒコールやニュースカー宣伝を行い、のぼり旗や横断幕などをかかげ行進しました。多くの市民の方が共感の拍手や手振りがあり元気をもらいました。



小倉駅前までシユプレヒコールをしながらパレード

安倍9条改憲NO！3000万人署名の集約を急ごう！

3000万人署名を取り組む「小倉地区の会」は、3月17日、小倉駅で「ロングラン宣伝」を行いました。

好天氣に恵まれ、3時間、3交代（運動員は、延べ72名参加）で158筆の憲法署名が集まりました。うたこえコーラス等を含め、署名のお願いスピーチをしながら、署名版を持ち、流れる人波に向かい、「署名してください！」と訴えます。

若い人の署名が目立ちました。中には、通行中の男性が、運動員に詰め寄り「自衛隊は憲法違反とあなたは思うか？」「日本の防衛はどうするのか？」などと質問を執拗に繰り返す人が出てきました。運動員は「平和こそ大切、憲法に自衛隊を書き込めば、アメリカの軍隊と一緒に戦地に自衛隊員が連れて行かれ、生命を失うことになる。」と反論し、最後は、あきらめて、論争をやめて、その男性は、署名場所から離れていきました。

「小倉地区の会」は、今後、地



署名の呼びかけに若者もたくさん応じてくれました。

域での署名の「ローラー作戦」を4月15日（日）と4月22日（日）、「ロングラン宣伝」を4月21日（土）に予定しています。

5.3 食べて 遊んで みんなで平和を感じよう！
北九州憲法 FESTA

みんながスピーチ
面白楽活演歌
歌い手演歌地

とき 5月 3日（憲法記念日）11時～15時

みんなで語り合う自由や平和、今の政治

食べ物・飲み物
いっぱいコーナー

ところ 勝山公園 中央図書館横広場

主催 北九州憲法フェスタ実行委員会 連絡先：池上 09062079303 天久 08056046069



平和をあきらめないネットの毎月19日行動 決算書改ざんを糾弾

労働法コラム 第50回

「高度プロフェッショナル制度導入に反対しよう」



黒崎合同法律事務所
溝口 史子 弁護士

政府は、根拠データの不備を理由に、働き方改革関連法案から裁量労働制の対象拡大に関する部分を削除すると表明しました。その一方で、「働いた時間ではなく成果で評価される働き方へ変える制度」と称して、高度プロフェッショナル制度（いわゆる「高プロ制度」）の創設を目指す姿勢を変えていません。

高度プロフェッショナル制度とは、省令で定められた特定高度専門業務（金融商品の開発業務、コンサルタント業務、研究開発業務等）に従事する者のうち、平均賃金額の3倍を相当程度

度上回る水準の賃金額以上（現案では年収1075万円程度）を得ている労働者について、本人の同意等の手続的要件をみたせば、労働基準法が定める労働時間に関する定めを適用しないという制度です。このため、高プロ制度が適用される労働者には、労働時間の上限規制がないほか、休憩時間・休日取得の権利がなく、時間外労働の割増賃金も支払われません。つまり、この制度は、使用者が労働者に、連日・長時間のただ働きを強いることができる、過労死促進法案・残業代ゼロ法案なのです。このように労働者から権利を奪う一方で、労働者に成果に応じた賃金を保障する制度はまったく設けられていません。

この点、政府は働かせすぎを防ぐため、使用者に、労働者が社内外で働いた時間（健康管理時間）を把握させ、①インターバル（就業時刻から始業時刻までに一定時間以上を確保する）措置、②1か月または3か月の健康管理時間の合計の上限規制、③年間104日の休日確保措置のいずれかの対策を講じさせるとしています。しかし、社外で働いた時間の把握は現実的ではありませんし、①②③いずれか1つの措置で足りるのであれば、労働者に休日なし労働や連続長時間労働を強いることができます。政府の主張する対策では、到底、労働者の健康を守ることはできません。

高度プロフェッショナル制度は、現時点では年収1075万円以上の労働者を対象としています。労働者派遣法の対象業種拡大等の規制緩和の動きや、経済団体が高プロ制度の対象者を年収400万円程度（平均年収程度）まで拡大するよう要望していることを考えると、今後、対象範囲が拡大し、長時間労働の規制が事実上骨抜きになるおそれがあります。他人事ではないのです。労働者の命・健康を守るため、高度プロフェッショナル制度の導入に反対しましょう！



健和会労働組合が2018年春闘要求で団体交渉開催

パート時間給、定年後雇用条件整備などで前進！
団交で、「安倍退陣」で共同宣言を確認

全国統一回答指定日となった3月14日（水）、健和会においても理事会より回答が示されました。保育士や事務職員など、パート職員の時給や昇給制度の改善、定数増などの前進回答がありました。定年延長に向けた検討を進めていくこともあわせて回答されています。

同日夜には、50名近い組合員が集まって団体交渉を行っています。交渉の中では、賃金・労働条件の協議とあわせて、安倍政権の暴走がいっそう強まる中で、内閣の退陣を求める労使共同宣言を緊急で確認しました。

今後、安倍政権退陣を求める様々な運動に労使共同で取り組んでいきます。



安倍政権の暴走に抗議し、団体交渉で労使共同宣言を採択。安倍政治を許さない！安倍政権の退陣を求めるポスターを掲げ記念写真